

静岡市清水区感染症発生動向

2015年 13週

集計期間 3/23-29

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱			1			1								2
溶連菌感染症				1	1	1		2		1	1	1		8
感染性胃腸炎	1	1	2	5	8	3	11	5	4	3	4	11		58
水痘						2	2							4
手足口病														
伝染性紅斑	1			2	2	1	3	4	1					14
突発性発疹		1	1											2
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu							2	1	2	2				7
小児科定点総数 95 増減 -9 前週比 91.3% 定点当たり 15.8 病院:開業医 4:91 増減 0:-9														
内科Flu											1	1		4
インフルエンザ総数 13 増減 -3 前週比 81.3% 定点当たり 1.4 小児科:内科 7:6 増減 -7:+4														

総数95、前週の91.3%と、とうとう100を切りました。

首位は、感染性胃腸炎、前週比93%、定点当たり9.6と減少です。

2位は、なんと、伝染性紅斑、前週比155%、定点当たり2.3と流行中です。

3位は、溶連菌感染症、前週比72%、定点当たり1.3と、減少です。

インフルエンザ、前週比50%、定点当たり1.2とで4位まで落ちました。

以下は、定点当たり1未満で、水痘、4名、咽頭結膜熱2名報告です。

RS、百日咳、マイコプラズマは、0になりました。

対象疾患外ですが、hMPVは、相変わらず出ています。

内科も含むインフルエンザ前週比81%と減少、小児4内科2の6/9定点からから報告、

内科定点は、6名で、前週比300%と増加、小児科定点は、前週比50%と半減です。

A型8名、B型4名、型報告無し1名で、Bが増加する傾向はありません。

小児は春休みに入り減少ですが、大人の増加があり、終息とは言えません。

3/29小児科休日当番は、来院者34名、インフルエンザB3名と落ち着いた状況でした。